



# 議会だより

令和6年

8月

1日号

おおたわら市

〈題 字〉

大田原高等学校 1年 “松本丈治さん”

No. 216



やまとたける  
日本武神社の不動の滝(宇田川)

「議会だより」は市議会ホームページでも閲覧できます。

「議会だより」は市議会ホームページでも閲覧できます。  
右の二次元コードからご覧ください。

また、議会だよりの内容を音声で聞くことができる  
『音訳(デージー)版議会だより』をご希望の方は、福祉課  
(0287-23-8921)へお問い合わせください。



令和6年 第2回

市議会定例会

令和6年第2回市議会定例会（6月定例会）は6月17日（月）から6月28日（金）までの12日間を会期として開かれました。

本定例会には、報告6件、市長の専決処分事項の承認案件3件、人事案件1件、計画変更案件1件、条例案件2件、財産取得案件1件、財産処分案件2件、補正予算案件2件、陳情3件の計21件が上程されました。

主な議案等は、市が出資する5法人の経営状況に関する報告のほか、大田原市消防団が使用する可搬消防ポンプ積載車の取得議案や一般会計補正予算（第1号）として定額減税や低所得者支援給付金事業、第2子保育料免除事業等に伴う民生費などへの11億4018万円の追加補正等でありました。

最終日には一般会計補正予算

（第2号）が追加議案として提出されました。

採決の結果、提出された議案は全て原案のとおり可決されました。

また、議会に提出された陳情3件はいずれも不採択となりました。

議案の詳細及び一般質問の内容については、下記以降をご覧ください。



令和6年 第2回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議案件名	結果
報告第3号	市長の専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定について)	報告受理
報告第4号	市長の専決処分事項の報告について(大田原市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について)	報告受理
報告第5号	令和5年度大田原市繰越明許費繰越計算報告について	報告受理
報告第6号	令和5年度大田原市水道事業会計予算繰越計算報告について	報告受理
報告第7号	令和5年度大田原市下水道事業会計予算繰越計算報告について	報告受理
報告第8号	一般財団法人大田原市管理公社ほか4法人の経営状況について	報告受理
議案第31号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(大田原市税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認 (全会一致)

議案番号	議案件名	結 果
議案第32号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて (大田原市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について)	承 認 (全会一致)
議案第33号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて (大田原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承 認 (全会一致)
議案第34号	大田原市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意 (全会一致)
議案第35号	大田原市辺地総合整備計画の変更について	原案可決 (全会一致)
議案第36号	大田原市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第37号	大田原市大輪味噌加工場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決 (全会一致)
議案第38号	財産の取得について	原案可決 (全会一致)
議案第39号	財産の処分について	原案可決 (全会一致)
議案第40号	財産の処分について	原案可決 (全会一致)
議案第41号	令和6年度大田原市一般会計補正予算(第1号)	原案可決 (賛成多数)
議案第42号	令和6年度大田原市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
陳 情 第 2 号	国に対して「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情	不 採 択 (賛成少数)
陳 情 第 4 号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	不 採 択 (賛成少数)
陳 情 第 5 号	現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める陳情書	不 採 択 (賛成少数)
追加議案第1号	令和6年度大田原市一般会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)

## 令和6年 第2回大田原市議会定例会における表決状況一覧

議案	伊賀純	前田則隆	深澤正夫	内藤幹夫	齋藤藤男	北原裕子	藤田善幸	津守那音	岡野忠	大塚正義	秋山幸子	前野良三	小野寺尚武	大豆生田春美	中川雅之	櫻井潤一郎	高瀬重嗣	滝田一郎	菊池久光	君島孝明	引地達雄
議案第31号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第32号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第33号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第34号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第35号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第36号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第37号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第38号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第39号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第40号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第41号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
議案第42号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○
陳情第2号	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×
陳情第4号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×
陳情第5号	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	-	×	×
追加議案第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○

# 一般質問 市政を問う

## 一般質問とは

定例会において、議員が市民の代表として、行政全般にわたり市の考え方や施策の進捗状況及び将来における政策方針等を質すことです。また、議員は市長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、市民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をする議員の重要な権限です。

(次ページ以降の質問及び答弁に関する記事は、質問した議員が自ら原稿をおこし、広報広聴委員会が校正して掲載しています。なお、原稿提出があった方のみ掲載しております。)

※顔写真横の二次元コードから、質問動画を閲覧できます。

### 質問通告者と質問事項

※太字が掲載されている項目

順番	質問者	質問事項	順番	質問者	質問事項
1	藤田 善幸	①自治会のあり方について ②国際医療福祉大学との連携について ③道の駅について	8	高瀬 重嗣	①令和6年3月定例会で可決された「令和6年度大田原市一般会計予算」に対する附帯決議について ②令和6年4月24日に公表された人口戦略会議による「地方自治体『持続可能性』分析レポート」について ③持続可能な行財政運営について
2	岡野 忠	①運動公園も含めた公園の整備について ②農業行政について ③若杉山荘について	9	滝田 一郎	①第3期大田原市未来創造戦略及び人口ビジョンについて ②火葬場の洋室化等の改修について ③体育館の有効利用について ④農業振興施策及び補助金の充実について ⑤学校給食の食材高騰対策及び充実した特色ある献立のための予算措置について
3	秋山 幸子	①学校給食費について ②市内企業への支援について ③本市の平和教育の充実を求めることについて	10	大塚 正義	①児童生徒向け学習用端末について ②上水道事業について ③下水道事業について ④相続未登記不動産について
4	津守 那音	①中心市街地の活性化について ②「ペットとの共生社会」実現に向けた取組について ③地区公民館について ④スマート農業の推進について	11	齋藤 藤男	①大田原市の財政政策について ②在宅介護者への支援について ③市民の健康を推進する政策について
5	伊賀 純	①学びの場の充実について ②屋台まつりについて ③統合された小学校の活用について ④猛暑対策について	12	北原 裕子	①ピアートホールのトイレ洋式化について ②重要文化財の保存、修理について ③医療行政について ④学校施設の修繕について
6	内藤 幹夫	①単身高齢者の終活支援について ②高齢者のスマートフォン教室について ③容器包装プラスチックの分別収集について ④物価高騰に対する支援について	13	小野寺尚武	①財政運営について ②道路行政について ③高館城址に文学碑を建立することについて ④ありがとう運動について
7	大豆生田 春美	①「災害に強い人づくり、まちづくり」について ②市営住宅の入居要件緩和について ③犬の適正飼育について	14	中川 雅之	①水道事業（AI技術を活用した事業の推進）について ②デジタルを活用したまちづくりの推進について ③eスポーツの普及促進について ④小中学校のプールの現状と今後について

自治会の  
あり方について



藤田 善幸 議員



**質問**…防災における本市と自治会の連携について伺います。  
**答弁**…本市では、地域住民が協力して、自分たちの地域を自分たちで守るために、市内全自治会に自主防災組織の設立を目標に取り組んでおり、新たに設立した自主防災組織には30万円相当の防災資機材の貸与や自主防災組織が行う防災訓練等の支援を行っています。

**質問**…本市の防災モデルの先駆けとして令和3年に西部地区防災連絡協議会が立ち上がりましたが、現在、協議会の活動内容や本市との連携状況を伺います。  
**答弁**…県が主導で地区防災の協議会を立ち上げる際、西部地区に働きかけ発足した経緯があります。大田原市の8自治会で構成されており、毎年防災訓練や避難訓練を実施しています。

**質問**…西部地区のような連絡協議会を立ち上げる考えがあるか伺います。  
**答弁**…まずは自主防災組織が市内全部に立ち上げたいという思いがあります。西部地区のような協議会が市内に生まれてくるというのは望ましいと思いますので、設立に向けての支援は行っていききたいと思えます。

一般質問



岡野 忠 議員



農業行政について

**質問**…令和6年度の米の作付け状況について伺います。  
**答弁**…本市の令和6年度の主食用米の作付状況は、6月4日現在の営農計画書の集計で、5248haとなっており、令和5年度の実績と比較すると約134ha増加しています。作付参考値との比較では、約590ha上回っている状況であり主食用米の価格高騰が見込まれるこ

とが要因に挙げられます。主食用米の作付が作付参考値を上回ることによる産地交付金への影響につきましても、当初配分では前年度を据え置いたため特段影響はありませんが、追加配分は令和6年度産の計画と実績に際し調整を行う場合があるため、減額となる可能性があります。  
**質問**…耕作放棄地の現状と増減、その内訳について伺います。

**答弁**…令和5年度における耕作放棄地（遊休農地）の面積は25.7haであり、市内の全耕地面積に対する割合としては0.24%であり昨年度と比較すると、0.7%増加しております。年々増加している傾向にあります。内訳としては、再生可能遊休農地17.8ha、再生困難遊休農地7.9haとなっております。

学校給食費について



秋山 幸子 議員



一般質問



津守 那音 議員



地区公民館について

**質問**…学校給食費半額補助を継続するための補正予算の検討及び給食費の無償化を国に対して強く要望するなどを求めた令和6年度一般会計に対する附帯決議の進捗状況を伺います。

**答弁**…現時点で給食費の半額補助、あるいは半額負担を再検討する予定はありません。学校給食に係る賄材料費の高騰分は、保護者負担を求めず引き続き公

費負担をすることとし、小中学校のお子さんが3人以上いる家庭に対し、3人目以降の給食費を無償化しました。給食費の無償化を国に対して強く要望するとともに、給食費の補助の終了による影響を継続的に調査し、その結果をホームページ等で定期的に公表することについては、国への要望は平成29年2月に全国市長会を通じて要望以来、継

続して要望しています。今年度も県市長会を通じて、全国市長会関東支部からの提出議案として6月12日開催の、第94回全国市長会議において採択されました。今後関係国会議員や関係省庁等へ提言として提出されいく予定です。また、影響についての調査方法を考えていきます。

**質問**…フリースペースの設置についての考えを伺います。

**答弁**…今後このロビー等フリースペースを市民の皆様がより気軽に多用途に活用できるようにしたいと考えています。まずは、開放可能な地区公民館に限って、フリースペースを活用し、7月1日から、子供たちが自由に学習できる場所を提供し、学習及び子供の居場所づくりの取組を

実施していきます。  
**質問**…クーリングシエルトアの設置について伺います。  
**答弁**…各地区公民館のほか、市役所本庁舎、黒羽庁舎の12の公共施設にクーリングシエルトアを設置することとしました。期間は7月1日から、国が熱中症警戒情報等を発表する期間である10月23日までとし、昨年から実施していましたが飲料水や経口

補水液の配備を引き続き行います。市民への周知については、令和6年7月1日までは、設置の公表をします。本市のクーリングシエルトアは、熱中症特別警戒情報が発令された場合だけでなく、施設の開所時間であればどなたでも利用できるものとなっておりますので、気軽に涼みどころとして利用いただきたいと思えます。

実施してあります飲料水や経口

屋台まつりについて



伊賀 純 議員



一般質問



内藤 幹夫 議員



単身高齢者の  
終活支援について

**質問**…市長は今年の屋台まつり最終日に「屋台会館について必要だと考えている。皆様のアイデアを頂き、計画を一步進めていくことを約束する」と述べました。会館建設に向けてアンケートとか何か計画をされているのか、今後の計画などを伺います。

**答弁**…屋台会館の建設による歴史文化の伝承や地域間交流の促進等が図られることが必要であることは承知をしています。一方で、小中学校や文化施設、スポーツ施設等の多くが老朽化しており、公共施設マネジメントを重視し個別施設計画を実行に移すことが急務となっています。まずは子どもたちの教育環境を整えるための施設改修事業などを優先的に実施し、屋台会館建設の在り方については調査研究

をしていきたいと考えています。

**質問**…会館建設に対し市民は賛同なのか否か、市民の皆様の会館建設に対するスタンスを、市は、どう捉えどう認識をされているのか伺います。

**答弁**…商工観光課に様々な意見、たくさんではありませんが、どちらかというと難しいのではないかとというような意見が多かったですと認識しています。

**質問**…本市の終活支援事業について伺います。

**答弁**…全地域で生活する高齢者等の終活を含む意思決定支援や権利擁護の重要性が高まっています。家庭裁判所が援助者である成年後見人等を選任することで、その方を法的に支援する制度として成年後見制度があります。本市では、令和4年度に大田原市成年後見制度利用促進

計画を策定し、成年後見制度の利用促進を進めています。その他、ひとり暮らし高齢者等が自宅で急病等の緊急事態に見舞われた場合に、利用者の安否確認をするための装置を貸与する緊急通報装置貸与事業や、緊急時に必要な医療情報を保管する救急医療情報キット配布事業等を行い、ひとり暮らし高齢者等が安心して生活を続けていけるよ

う支援しています。

**質問**…本市の65歳以上の単身高齢者の人数について伺います。

**答弁**…施設の入所もしくは同居の可能性のある世帯を除いた人数は、およそ3500人程度であると考えています。

「災害に強い人づくり、まちづくり」について



大豆生田 春美 議員



一般質問



高瀬 重嗣 議員



令和6年3月定例会で可決された「令和6年度大田原市一般会計予算」に対する附帯決議について

**質問**…世代、職域、地域を超えたオール大田原で「全世代型防災教育」を行う考えはあるか伺います。

**答弁**…本市が取り組んでいる防災教育として、防災講話の出前講座があります。本年度はすでに6件の講話を実施し、予約も9件受けており、複数の問い合わせも受けています。その要因としては3月に市内全戸配布し

**質問**…附帯決議に対し市はどのような対応を取るのか伺います。  
**答弁**…給食費の補助を再検討する予定はありません。全額負担の影響の調査方法は今後考えていきます。  
**質問**…議会が予算は認めながらも附帯決議をつけたのは執行部に対する最後通告だと私は考えますが、市長の認識を伺います。  
**答弁**…予算の組替え動議等につ

た防災ハザードマップが防災意識を高めるきっかけになったものと考えています。今後も小中学校での防災教育をはじめ、防災士養成講座、防災講話などの取組を一つずつ進め、本市に合った全世代型防災教育を構築していきたいと考えています。  
**質問**…防災士取得後、活動の場を提供していく考えはあるか伺います。

いては覚悟しています。  
**質問**…子供が10人で学校に同時に2人しかいない場合には無料にはならないのか伺います。  
**答弁**…義務教育期間の中で3人以上いれば、その方が対象です。  
**質問**…これが給食費の補助と同等の支援と考えるのか伺います。  
**答弁**…同等ではないと思います。  
**質問**…平成29年度から続く全国市長会の要望が、無償化を国に

**答弁**…今年の3月、地域防災計画改定にあたり「防災士資格取得とその後のフォローアップ研修を通じて、防災リーダー養成と育成を図る必要がある」という文言を新たに追加したところです。どういう場で活躍してもらうかは研究を進めて、実現できるようにしていきたいと考えています。

強く要望するものか伺います。  
**答弁**…県に問合せしたところ、同じ要望が毎年行われているので、全国市長会にそのまま提出しています。  
**質問**…与党の実力者にも直接アポイントメントを取れる自身のコネクションを最大限活用していただけるか伺います。  
**答弁**…行動していきたいと考えています。

下水道事業について



大塚 正義 議員



一般質問



滝田 一郎 議員



学校給食の食材高騰対策及び充実した特色ある献立のための予算措置について

質問…農業集落排水事業の金丸処理区・川西第一処理区・川西第二処理区の特定期間保全公共下水道への統合の状況について伺います。

令和8年度以降に、工事の詳細設計、そして工事の着手を予定しています。

旧黒羽町が対象地区となりますので、川西第一処理区、第二処理区は対象となり金丸処理区は対象とならない見込みです。

質問…食材高騰公費負担の食当たり小学校28円、中学校34円を増額できないか伺います。

食材を多く使う与一くんランチ、ALPS処理水放出に伴う風評影響による海産物のホタテ提供事業を活用した給食メニューなど特色ある献立にも努めています。

色ある献立の給食を届けます。質問…厳しいという認識があれば、すぐに物価高騰分を対策しないと、現場ではどうしようもないのではないかとと思うのです。

答弁…汚水処理の共同化を目的として、3地区の農業集落排水処理施設を黒羽水処理センターに編入を計画しています。

答弁…下水道広域化推進事業で、費用の2分の1は国の交付金が充てられます。

答弁…受益者負担はありません。国の交付金と市の下水道事業の会計で賄う予定です。

答弁…今後の状況を注視し、必要であれば補正予算などの措置を講じていきます。

記念した給食メニューの提供も予定しています。

答弁…現場の声を聞きながら物価高騰分、まずこの部分を必要に応じて予算措置をします。

質問…給食費の全額保護者負担を契機として、「充実した特色ある献立」のための予算を確保できないか伺います。

状況を注視しながら、本市の未来を担う子供たちに質も量もおいしさも十分である充実した特

答弁…現場の声を聞きながら物価高騰分、まずこの部分を必要に応じて予算措置をします。

答弁…大田原市産や栃木県産の

来を担う子供たちに質も量もおいしさも十分である充実した特

答弁…現場の声を聞きながら物価高騰分、まずこの部分を必要に応じて予算措置をします。

在宅介護者への

支援について



齋藤 藤男 議員

**質問**…2025年を過ぎますと団塊の世代が後期高齢者の仲間入りを果たし、要介護者が増加して、経済的に苦しい家庭は在宅介護になります。在宅介護への支援は今のままで足りているのかということについて伺います。

**答弁**…本市では寝たきり高齢者等介護手当を支給しています。支給額は月額3千円であり対象

者に支給しています。介護者の負担やその心労が少しでも軽減されるよう今後も寝たきり高齢者等介護手当を支給していきます。

**質問**…在宅介護は低年金者であればサービスを受けることさえままならないという2024年の法改正による値上げの検討により今後仕事を休んででも介護に時間を取られなくてはならな

い方が増えます。大田原の介護保険制度が先進的に現金給付にかじを切っていくというのを実現していただけるか伺います。  
**答弁**…経済的支援は本市が他市と大きくかけ離れているということではないので、今後現行の制度でしばらく行っていくたいと考えています。

一般質問

学校施設の

修繕について



北原 裕子 議員



**質問**…学校施設の修繕状況について伺います。

**答弁**…学校施設は高度経済成長期に集中投資したことなどから、建設して50年以上経過した施設が多数存在しており、急速に老朽化が進んでいます。本市では年度初めに市内小中学校25校から建築物の修繕や新規設置などを求める営繕の要望を提出していただき、その後全校で300

件近くの営繕要望箇所を全て直接現場確認の上、優先順位を決めて順次修繕等を行っています。また、突発的な破損や故障、雨漏りなど年間600件以上の業務に対応しているところです。

**質問**…修繕計画について伺います。

**答弁**…学校施設は厳しい財政状況下、適切に維持管理していくことが施設管理者にとって重要

な課題となっています。重点的、効率的な施設の維持管理や更新投資を行っていくため、建築基準法に基づく12条点検を有資格者である市職員が直接実施し、迅速かつ計画的に修繕や更新を行っています。空調設備設置やトイレの洋式化、給排水設備の更新など、中長期計画を作成した上で修繕を行います。

財政運営について



小野寺 尚武 議員



**質問**…市の財政状況を比べる場合、私は標準財政規模を活用し比較していくべきだろうと提案します。これが一番財政の分析には活用できるのではないかと考えています。令和5年度が約192億円、令和4年度が約191億円、令和3年度が約196億円、令和2年度が約191億円これは増減がありますが地方公共団体が標準的な状態で通常取

入されるであろう経常的一般財源の規模を示すものであり標準税収入に普通交付税と臨時財政対策債発行可能額を加算した額です。本市の財政分析に活用することで、良くなっているか悪くなっているか、増えたか減ったか、この標準財政規模をもっと活用していくべきであろうと思います。

**答弁**…確かに標準財政規模はそ

の自治体の年間の標準的な収入ということの一つの予算編成の目安となります。それから指数を算出する重要な数値でありますのでこれらの増減は財政運営に大きく関わってくるところで、今後は、本市の年度ごとの財政運営比較として使っていきたいと考えます。

一般質問



中川 雅之 議員



水道事業(AI技術を活用した事業の推進)について

**質問**…AI技術を活用した水道事業の取組についての本市の考えを伺います。

**答弁**…県内では足利市をはじめ、宇都宮市においても様々なAI解析技術手法による管路劣化予測診断を取り入れている事業体があります。これらは、過去の漏水事故履歴や地形、土壤等のビッグデータ、管路データを取り込むことにより、AIが管路

の劣化診断を行い、水道管破損リスクの高い箇所を選別するものであります。これにより漏水調査箇所の絞り込みや管路更新の優先度を効率的に判断することが出来ます。本市においても

他市の状況を注視しながら、本市に有効なAI技術の導入について検討したいと考えています。  
**質問**…デジタル田園都市国家構想の支援を活用しながら水道事

業の推進を図っている自治体もあります。早急に検討していただきたいと思うが考えを伺います。

**答弁**…来年度のデジ田交付金について、募集をするということ、庁内で今検討を進めている状況でありますので、チャンスがあれば手を挙げていきたいと思っております。

# 4月~6月

## 協議会及び委員会の内容

### 全員協議会

#### ◆4月16日

#### (報告事項)

- 1 大田原市過疎地域持続的発展計画の基本目標に係る各指標の現状及び実施状況の報告について
- 2 第3期大田原市未来創造戦略の策定について
- 3 第3次八溝山周辺地域定住自立圏共生ビジョンの策定について
- 4 請願・陳情採択事件処理状況の報告について
- 5 令和5年度情報公開・個人情報開示の状況について
- 6 いのち支える大田原市自殺対策計画の策定について
- 7 第4次大田原市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定について
- 8 第6期大田原市障害者福祉計画、第7期大田原市障害福祉計画及び第3期大田原市障害児福祉計画の策定について
- 9 大田原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(あんしんプラン)第9期計画の策定について
- 10 第3期大田原市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)及び第4期大田原市特定健康診査等実施計画の策定について
- 11 市史編さん事業における資料集『大田原市の民俗』及び『大田原市史研究』の刊行について
- 12 議会運営委員会委員の選任について

- 13 議会報告会について
- 14 議会におけるクールビズの対応について

#### (協議事項)

- 1 議員充て職について

#### ◆5月10日

#### (報告事項)

- 1 大田原市公共施設個別施設計画の改定について

- 2 大田原市水道事業経営戦略の改定について

- 3 議員充て職について

#### ◆6月28日(臨時)

#### (報告事項)

- 1 追加議案第1号について

#### ◆6月28日

#### (報告事項)

- 1 令和6年度市政懇談会の開催について

- 2 クーリングシェルトアの設置について

- 3 総務常任委員会行政視察の報告について

- 4 民生文教常任委員会行政視察の報告について

- 5 建設産業常任委員会行政視察の報告について

- 6 議会報告会について

### 総務常任委員会

#### ◆6月24日

- 1 付託議案の審査

### 民生文教常任委員会

#### ◆6月25日

- 1 付託案件の審査

### 建設産業常任委員会

#### ◆6月26日

- 1 付託議案等の審査

### 議会運営委員会

#### ◆4月16日

- 1 議場内執行部席の変更について

- 2 議会におけるクールビズの対応について

- 3 令和6年度内の定例会日程(予定表)の配付について

- 4 令和6年度全員協議会(予定表)の配付について

#### ◆6月10日

- 1 令和6年第2回市議会定例会の招集について

#### ◆6月28日

- 1 追加議案第1号について

### 広報広聴委員会

#### ◆4月9日

- 1 議会だより5月号について

- 2 議会報告会について

#### ◆5月10日

- 1 議会報告会について

### 議員倫理委員会

#### ◆6月28日

- 1 委員長の互選について

- 2 副委員長の互選について

- 3 会議日程について



## 各常任委員会行政視察報告

5月に、総務、民生文教、建設産業の3常任委員会が、それぞれ行政視察を行ってまいりました。各常任委員会の報告は以下のとおりです。

### 総務常任委員会

5月14日～16日(所管事項調査)



#### 1、愛媛県松山市「産官学民が連携した全世代型防災教育について」

松山市は、令和元年5月に産官学民が参画する「松山市防災教育推進協議会」を設立し、同年10月には愛媛大学と連携して「松山防災リーダー育成センター」を設置し、発達段階や避難所となる小中学校や社会福祉施設、幼稚園、高校及び大学なほか、職域に合わせた防災教育のプログラムを開発し、すべての世代・職域への防災教育と、防災リーダーの育成に取り組んでいる。なお、松山市は令和6年4月末時点で9653人の防災士がおり、全国最多となっている。

#### 2、愛媛県今治市「廃校利活用(大三島ふるさと憩の家)について」

大三島ふるさと憩の家は、過疎化に伴う児童数の減少により廃校となった宗方小学校を、校舎の再利用や地域の活性化を願う住民の強い要望に応えるため、宿泊ができる交流施設として再整備をしている。改修工事では島の高中生や島内外のボランティアが職人と一緒になって左官の壁塗り、木材の塗装や屋根瓦の補修を協働で行い、平成30年4月にリニューアルオープンをしている。この施設は、子供たちの合宿、島の高中生と留学生の交流会、島内カップルの結婚式、卒業生の懇親会など、宿泊だけではなく、地域の交流の場としての役割も担っている。



#### 3、愛媛県東温市「移住定住について」

東温市では、地域活力創出課が移住施策を所管しており、商工業の振興や新産業創出、観光・地域ブランドの確立なども担当している。移住担当は、専任の職員1名に加えて、移住コンシェルジュ(会計年度任用職員)2名を任用し、市役所内に移住希望者からの総合相談窓口として一元的に相談業務を担当している。また、移住者向けの情報発信として、移住定住サイト「東温市移住・定住支援ポータルサイト」を開設している。コンテンツについては、移住コンシェルジュが中心となり、地域おこし協力隊OBも交えて発信を行っており、最近では移住検討者向けのガイドブックのリニューアルやミニドラマの制作、地元出身のタレントや映画監督によるミュージックビデオの制作等、県外の若い世代にも響くようなコンテンツを職員及び移住コンシェルジュで考えている。

### 民生文教常任委員会

5月22日～24日(所管事項調査)



#### 1、青森県八戸市「看護師等就学資金貸与事業について」

八戸市では、学生時代から市に親しみ、卒業後もそのまま就職し定住することにより、市内の医療施設等の看護師不足の解消と市の活性化を図るため、平成21年度から看護師等就学資金貸与事業を行っている。事業開始当初からの貸与実績は延べ188名にのぼり、市内医療機関等の看護師等の充足に寄与している。



## 2、北海道函館市「教職員の働き方改革について」

函館市教育委員会では、北海道教育委員会が策定している「学校における働き方改革 北海道アクション・プラン」を参考に、函館市独自の「教職員の業務改善のための取組」を策定、取組目標（教職員の時間外在校等時間を1か月45時間以内、1年間で360時間以内）を掲げ、校務支援システムの活用や『働き方改革通信』の発行、学校閉庁日の設定等、働き方改革の推進を積極的に行っている。



## 3、青森県十和田市（一般社団法人日々木の森）「障害者就労支援の取組について」

一般社団法人日々木の森は、平成19年に築70年の古民家を改修してオープンした「農園カフェ日々木」における就労継続支援事業の開始を契機に、平成22年に法人化し、現在に至るまで、カフェの営業、加工品の製造・販売、放課後等デイサービスの運営、ブルーベリー農園の運営等を通じて、障害者の就労支援に取り組んでいる。各取組を通じ、「農業」「福祉」「食」の連携を図り、地域社会における、共育・共働・共生の実現を目指している。

## 建設産業常任委員会

5月14日～16日(所管事項調査)

### 1、長崎県大村市「産業支援センター事業について」

大村市産業支援センターは、2017年に中小企業者や個人事業主などの事業課題に向けた相談所として開設された。「お金をかけずに、知恵を出す」をモットーに、大村商工会議所などの関係機関と連携し、相談内容に応じた専門家の助言や、起業のための創業塾が開催されている。



大村市産業支援センターにて

### 2、長崎県島原市「ロケツーリズムについて」

島原市は、市長自らがトップセールスを行うとともにロケツーリズムの専門部署を設置し、市民を巻き込んだロケ地誘致に取り組んでいる。映像制作者を招聘した「ロケハンツアー」の実施や、ロケ地マップを発行、ウェブサイトへの掲載など積極的な活動により、ロケツーリズムがもつ情報発信力で移住・定住、ふるさと納税額の増加など、様々な成果を上げている。



### 3、長崎県雲仙市「光り輝く雲仙カアアップ事業について」

雲仙市は、基幹産業で農林水産業がさらに飛躍するための「光り輝く雲仙カアアップ事業」と称して、様々な市独自の支援策（補助金制度）を展開しており、33ものメニューは、スマート農業、担い手育成、農地利活用など幅広く充実している。また、農家の要望や交付実績に応じて支援メニューを柔軟に見直しており、毎年ほとんどのメニューが予算枠に達するなど、農業者へ支援が行き届くよう工夫されている。

議  
会  
日  
誌

4月

- 9日○広報広聴委員会
- 15日○栃木県市議会議長会議長会議
- 16日○会派代表者会議
- 議会運営委員会
- 全員協議会
- 25日○関東市議会議長会定期総会



5月

- 10日○全員協議会
- 広報広聴委員会
- 14日○総務常任委員会行政視察(愛媛県松山市・今治市・東温市16日まで)
- 建設産業常任委員会行政視察(長崎県大村市・島原市・雲仙市16日まで)
- 16日○千葉県八街市議会行政視察対応
- 22日○民生文教常任委員会行政視察(青森県)



6月

- 八戸市・北海道函館市・青森県十和田市24日まで)
- 全国市議会議長会定期総会
- 24日○那須市町村議会議長会総会
- 29日○県北五市議長会議

- 10日○議会運営委員会
- 17日○令和6年第2回市議会定例会招集(本会議)
- 19日○本会議(一般質問)
- 20日○本会議(一般質問)
- 21日○本会議(一般質問)
- 24日○総務常任委員会
- 25日○民生文教常任委員会
- 26日○建設産業常任委員会
- 28日○議会運営委員会
- 会派代表者会議
- 全員協議会(臨時)
- 本会議(議決)
- 全員協議会
- 議員倫理委員会



暑中お見舞い申し上げます

公職の候補者等が選挙区内の方々に対して、  
金銭、物品その他の財産上の利益供与または交付は  
公職選挙法に抵触しますので、  
ご理解くださいますようお願いいたします。

大田原市議会議員一同



# みなさんからの 請願・陳情 (委員会審査状況)

## 陳情第2号

国に対して「健康保険証の  
存続を求める意見書」の  
提出を求める陳情

(令和6年5月提出)

(提出者)

宇都宮市中戸祭町821

栃木県労働者福祉センター3階

連合栃木内栃木県退職者連合

会長 有野 一良

栃木県労働者福祉センター5階

自治労栃木県本部内

全日本自治体退職者会栃木県本部

会長 金子 安男

(陳情の趣旨)

マイナンバーカードと一体化されたマイナ保険証の取得は、申請による任意の判断のみに基づくとの原則を明確にすること及びマイナ保険証に対する国民の不安が払拭されるまでは、現行の健康保険証を存続させることについて、国に対し意見書を提出することを求める。

(民生文教常任委員会)

審査の内容・結果

「医療機関でのシステムの整備状況や不具合が発生した場合の心配がある」、また一方で「マイナ保険証は一度登録すれば使えるので便利である」、「過渡期の諸問題は、併用期間中に対処されると思うので、

## 陳情第5号

現行の健康保険証と  
マイナ保険証の両立を  
求める陳情書

(令和6年5月提出)

(提出者)

栃木県宇都宮市住吉町1-10

栃木県保険医協会

会長 長尾 月夫

(陳情の趣旨)

2024年12月から始まる健康保険証の廃止を中止し、当面の間、現行の健康保険証とマイナ保険証との両立を求めるように、国に意見書を提出することを求める。

(民生文教常任委員会)

審査の内容・結果

「陳情第2号と同様の内容であるため、市議会としての結論は合わせるべきである」との意見があり、審査の結果、「不採択」とすることにしました。

(不採択)



(不採択)

とすることにしました。

## 陳情第4号

「最低賃金の改正と  
中小企業支援の拡充を  
求める意見書」の採択を  
求める陳情

(令和6年5月提出)

(提出者)

宇都宮市兵庫塚3-10-30

栃木県労働組合総連合

議長 阿波 長次

(陳情の趣旨)

最低賃金を改正し、全国一律制度を実現し、抜本的に引き上げること、中小企業支援策の拡充を実現するため、国に対して意見書を提出する採択を求める。

(建設産業常任委員会)

審査の内容・結果

「最低賃金の一律は理想であるが、賃上げにより地方の中小企業や地場産業、農業法人の経営の悪化が懸念される」、「都会と地方の生活費等の違いがある中で、最低賃金を統一するのは難しい、まずは中小企業等への支援が先ではないか」といった意見があり、審査の結果、「不採択」とすることにしました。

## 請願・陳情はこんな方法で

- 請願(陳情)書は、議会事務局へ持参してください。
- 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願(陳情)者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
- 用紙のサイズはA4版でお願いいたします。
- 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

〈請願(陳情)書の書式例〉

《表紙》

〇〇〇に関する  
請願(陳情)

紹介議員名  
(陳情は不要)

印

《内容》

1. 請願(陳情)の趣旨  
2. 請願(陳情)の理由  
令和〇年〇月〇日

請願(陳情)者  
住所  
氏名  
大田原市議会議長あて

印

## 令和6年9月 定例会開催のお知らせ

… 会期(予定) …

9月2日(月)～  
9月20日(金)

※一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。  
市議会HPはこちらから▶



## 市議会では インターネットによる 生中継をしております

### ●アクセス方法

ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「**大田原市議会**」から「**議会中継**」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。

なお、本会議の録画映像も市ホームページにて配信しておりますのでぜひご覧ください。



### ●大田原市ホームページ

<https://www.city.ohtawara.tochigi.jp/>

### ●お問い合わせ先

大田原市議会事務局 ☎0287-23-8714

## 令和6年議会報告会を 開催しました

議会基本条例に基づき、7月17日、24日及び25日に議会報告会を開催しました。

今年の議会報告会では市内3校(黒羽高校、大田原高校、大田原女子高校)の高校生との意見交換を行いました。

第1部では大田原市議会の概要についての説明や各常任委員会の審査内容の報告を行い、第2部では「高校生が考えるまちづくり～若者が住み続けたいまちにするためには～」をテーマにご参加いただいた高校生と議員がグループに分かれ、意見交換を行いました。

高校生との意見交換は、大田原市議会としては初の試みとなりましたが、グループワークを通して若い世代ならではの様々な意見が出されました。

意見交換等の詳細は、改めて市議会ホームページや議会だより11月号に掲載予定です。

